

夏休み終了、学校再開 「凡事徹底」

夏休みが終わり、8月31日(月)から学校が再開しました。

再開初日の全校集会では、5月のサッカーワールドカップ代表メンバー最終発表時の森保監督の記者会見から、「**凡事徹底(ほんじてってい)**」という言葉(考え方)を紹介しました。

森保監督は、前回4年前のワールドカップの同じ代表メンバー最終発表時の記者会見の際は、「行云流水」という言葉を大事にしている、と話していました。「今回のワールドカップではどんな言葉を大切にしていますか」という記者からの問いかけに、「**W杯は特別な舞台ですけど、でも特別な舞台だから何をするというわけではなく、これまでやってきたプロセスの先にW杯があると思っています**」と「**凡事徹底**」を大切にしていると森保監督が話す映像を生徒の皆さんに見てもらいました。

「**凡事徹底**」とは、「**何でもないような当たり前のことを、誰にもまねできないほど徹底して行う**」という姿勢や考え方です。

また、「**当たり前のことをする**」だけでなく、**妥協せず継続して非凡な成果につなげること**が大切です。このことを実践すると以下のような成果が期待できます。

- ・ **平凡を非凡に変える**：誰もが手を抜いたり軽視したりしがちな小さな基本を、一貫してやり通すことで大きな信頼や実力を生む。
- ・ **中途半端にしない**：形だけ真似るのではなく、底まで突き詰めて習慣化する。
- ・ **自己管理と信頼**：日々の地道な行動こそが人間性を高め、周囲との強い絆を作る。



サッカー日本代表にとって、「特別な舞台」は「ワールドカップ」ですが、皆さんにとっての「特別な舞台」は何でしょうか。

「**凡事徹底**」を心がけることで、その「特別な舞台」を何か特別なことをせずとも、日々の生活の延長線上に迎えることができるはずです。

さて、夏休みが終わり、今年度も残り約7か月となりました。さあ、残り7か月、皆さんは日々の生活の中で、どんなことを徹底して行いますか？自分が日々の生活の中で心がけることを何か決めて、それを継続して行うことで、自然と自分に力がついたり周囲から信頼される人物になったりできるでしょう。7か月後の皆さんがどのように成長しているかが楽しみです。



文化活動発表会に向けて

10月8日(木)に行われる校内文化活動発表会に向けて、活動が始まりました。まずは、文化活動発表会の実行委員会が行われ、今年度のテーマが決まりました。「文化活動発表会を成功させるためには、一人ひとりが主役になることが大切だと思ったから」という設定理由で、今年度のテーマは「**百花繚乱～一人ひとりが主役になる時～**」となりました。また、各クラスでは合唱コンクールに向けて、合唱曲・指揮者・伴奏者等も選考されました。

期末テストが終わり、9月11日(金)から昼休みの合唱練習が始まりました。早速、各クラスパートリーダーや文活実行委員が中心となって練習に取り組み、校舎内には歌声が響いています。クラス全員の気持ちを一つにしてどんな歌声を当日響かせてくれるのか、合唱コンクール当日が楽しみです。合唱コンクール以外にも教科や部活動でのステージ発表等に向けての練習や実行委員の準備等も始まっています。ステージ発表だけでなく、各教科や委員会での展示発表もあります。保護者の皆様もぜひご来校いただき、生徒の活動の成果をご覧ください。



中井中生の活躍 (7・8月)

◆サッカー部 (足柄台中との合同チーム)

県西ブロック総合体育大会

第3位

◆男子バレー部

県西ブロック総合体育大会

準優勝

(県大会出場)

◆吹奏楽部

西湘吹奏楽コンクール中学生の部B部門

銀賞

◆英語弁論大会地区予選会通過 (県予選出場)



先生方も学び続けています



「夏休み中、先生方は何をしているのか？」と聞かれることがよくあります。様々な研修や出張、部活動の指導や大会引率、夏休み明けの授業の準備や期末テスト・評価の準備など、やることはたくさんあります。そんな中、全職員が集まって、職員作業や職員研修なども行っています。今年度は、「校内研究全体会」のほか、「不審者対応研修」「不祥事防止研修」「ICT研修」など、外部から講師をお招きしての研修をいくつか行いました。様々な研修を通して、今日的な教育課題について教職員が共に学び、じっくり話し合うことはとても大切な機会であり、時間です。研修を通して学んだことを今後の学校教育や生徒の皆さんと向き合う上で、しっかりと生かしていきます。